

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワーク I (4 単位)	3. 科目番号	SBMP2155
2. 授業担当教員	姜 壽男		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	社会福祉士の役割と意義、相談援助の概念と範囲、歴史、理念、権利擁護の実際、相談援助に係る専門職の概念と範囲及び倫理、ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義について学ぶとともに、実践現場で活用するためのソーシャルワークの方法・技術を身に付ける。		
8. 学習目標	<p>学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について理解し説明できる。 ・相談援助の概念と範囲について理解し、説明できる。 ・相談援助の理念について理解し、説明できる。 ・相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解し、説明できる。 ・相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解し、説明できる。 ・総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義の内容について理解し、説明できる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の理解度をみる課題を授業内で複数回行う。 ＊その他授業の進行状況に応じて指示します。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会『新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職』第 3 版 中央法規出版, 2015 年</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説 (中等教育編)』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の基準と評定の方法	<p>○成績評価の基準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講態度・参加姿勢 40% (全授業の 3/4 以上の出席が必要) 遅刻 (10 分程度迄) は 3 回で 1 回休みとなる。 2. 筆記試験とレポート試験を行う。60% <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉士の役割 (総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む) と意義について理解し、説明できる。 2. 相談援助の概念と範囲について理解し、説明できる。 3. 相談援助の理念について理解し、説明できる。 4. 相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解し、説明できる。 5. 相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解し、説明できる。 6. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義の内容について理解し、説明できる。 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>ソーシャルワーク I はこれから社会福祉士・社会福祉の専門職になるために必要な理論習得の基礎となる科目です。そのため、授業への出席、熱意ある参加、ディスカッション・作業、レポート作成などへの積極的な取組みを望みます。授業の進捗状況・理解度にあわせ、順番等を変更する場合があります。</p>		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) に通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	授業内容と進め方について	事前学習	教科書の「はじめに」を読み、学習内容の全体的なイメージをつかんでおく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 回	第 1 章 社会福祉士の役割と意義	事前学習	教科書の第 1 章 (pp. 1~17) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 3 回	第 2 章 相談援助の定義と構成要素① ソーシャルワークの定義	事前学習	教科書の第 2 章 (pp. 19~41) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 4 回	第 2 章 相談援助の定義と構成要素② 相談援助における基本的用語の理解	事前学習	教科書の第 2 章 (pp. 19~41) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 5 回	第 5・6 章 相談援助の理念 I II ① ソーシャルワークの価値と実践	事前学習	教科書の第 5/6 章 (pp. 83~118) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 6 回	第 5・6 章 相談援助の理念 I II ② クライアントの尊厳と自己決定	事前学習	教科書の第 5/6 章 (pp. 83~118) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 7 回	第 7 章 専門職倫理と倫理的ジレンマ① 専門職倫理の概念	事前学習	教科書の第 7 章 (pp. 119~140) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。

第8回	第7章 専門職倫理と倫理的ジレンマ② 倫理綱領の意義と内容	事前学習	教科書の第7章 (pp.119～140) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第9回	第7章 専門職倫理と倫理的ジレンマ③ ソーシャルワーク実践におけるジレンマ	事前学習	教科書の第7章 (pp.119～140) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第10回	中間まとめ1 (課題①作成)	事前学習	教科書の第1/2/5/6/7章を読み、重要な点の再確認をしておく。
		事後学習	ここまでの内容について整理し、理解を深める。
第11回	第3章 相談援助の形成過程Ⅰ① ソーシャルワークの源流/日本	事前学習	教科書の第3章 (pp.43～59) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第12回	第3章 相談援助の形成過程Ⅰ② ソーシャルワークの源流/諸外国	事前学習	教科書の第3章 (pp.43～59) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第13回	第3章 相談援助の形成過程Ⅰ③ ソーシャルワークの基礎確立期(ケースワークの確立)	事前学習	教科書の第3章 (pp.43～59) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第14回	第3章 相談援助の形成過程Ⅰ④ ソーシャルワークの専門性の確立	事前学習	教科書の第3章 (pp.43～59) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第15回	第4章 相談援助の形成過程Ⅱ① 診断主義学派と機能主義学派	事前学習	教科書の第4章 (pp.61～82) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第16回	第4章 相談援助の形成過程Ⅱ② グループワークの形成	事前学習	教科書の第4章 (pp.61～82) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第17回	第4章 相談援助の形成過程Ⅱ③ コミュニティ・オーガニゼーション	事前学習	教科書の第4章 (pp.61～82) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第18回	第4章 相談援助の形成過程Ⅱ④ ソーシャルワークモデルの形成	事前学習	教科書の第4章 (pp.61～82) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第19回	第4章 相談援助の形成過程Ⅱ⑤ ジェネラリストソーシャルワーク	事前学習	教科書の第4章 (pp.61～82) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第20回	中間まとめ2 (課題②作成)	事前学習	教科書の第3章～第4章 (pp.43～82) を読み、重要な点の再確認をしておく。
		事後学習	ここまでの内容について整理し、理解を深める。
第21回	第8章 総合的かつ包括的な相談援助の全体像①	事前学習	教科書の第8章 (pp.141～154) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第22回	第8章 総合的かつ包括的な相談援助の全体像①	事前学習	教科書の第8章 (pp.141～154) を読み、重要な点の再確認をしておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第23回	第9章 総合的かつ包括的な相談援助を支える理論① ジェネラリストソーシャルワーク実践とその理論	事前学習	教科書の第9章 (pp.155～167) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第24回	第9章 総合的かつ包括的な相談援助を支える理論② ストレングスマデル実践とその理論	事前学習	教科書の第9章 (pp.155～167) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第25回	第10章 相談援助にかかる専門職の概念と範囲①	事前学習	教科書の第10章 (pp.169～188) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第26回	第10章 相談援助にかかる専門職の概念と範囲①	事前学習	教科書の第10章 (pp.169～188) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第27回	第11章 総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能① ミクロでのソーシャルワーク事例	事前学習	教科書の第11章 (pp.189～237) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第28回	第11章 総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能② メゾでのソーシャルワーク事例	事前学習	教科書の第11章 (pp.189～237) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第29回	第11章 総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能③ マクロでのソーシャルワーク事例	事前学習	教科書の第11章 (pp.189～237) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第30回	総まとめ (課題③作成)	事前学習	教科書の第8章～11章 (pp.141～237) を読み、重要な点の再確認をしておく。
		事後学習	ここまでの内容について整理し、理解を深める。